

裁判員制度 ……市民が刑事裁判に参加して、裁判官と一緒に有罪・無罪や刑の重さを決める制度です。  
2004年の通常国会に法案が提出される予定で、立法化は大詰めを迎えています。

内閣の司法制度改革推進本部にある「裁判員制度・刑事検討会」において、事務局が作成した「たたき台」に次の項目が掲げられています。

2003/03/11 第13回会合にて配布の「裁判員制度について」

法務省ホームページ (URL <http://www.moj.go.jp/>) -> [司法制度改革について] -> [首相官邸 HP「司法制度改革」コーナー] -> [検討会] -> [裁判員制度・刑事検討会] -> [第13回会合 配布資料] -> [資料1 裁判員制度について]

第8項 裁判員の保護及び出頭確保等に関する措置

(4) 出頭の確保

ア. 何人も、他人が裁判員となることを妨げてはならないものとする。

イ. 労働者は、その事業主に申し出ることにより、裁判員の職務を行うために必要な範囲で休業すること(裁判員休業)ができるものとする。事業主は、労働者からの裁判員休業申し出があったときは、当該裁判員休業申出を拒むことができないものとする。

ウ. 事業主は、労働者が裁判員休業申出をし、又は裁判員休業をしたことを理由として、当該労働者に対して解雇その他不利益な取扱をしてはならないものとする。

1. 「裁判員制度」を知っていますか？

はい いいえ

と回答された方 何から知ったのですか？(複数回答可)

ア. テレビ/ラジオ イ. 新聞 ウ. 雑誌 エ. ホームページ オ. 各種学校 カ. イベント・セミナー  
キ. 政府広報 ク. 友人・知人

2. 「裁判員」になるために希望する制度、裁判所内施設はありますか？(複数回答可)

有給休暇 特別休暇 育児・介護サービス 託児所 パソコン・インターネット環境  
裁判に関するオリエンテーション

3. 裁判は連日開廷の予定ですが、何日間なら参加できますか？(複数回答不可)

3日以内 1週間以内 2週間以内 1ヶ月以内 問わない

4. 仕事や介護、育児などの引継ぎを考慮して、どれくらい前に「裁判員」候補当選のお知らせが欲しいですか？

1週間から10日 約1ヶ月 約2ヶ月 約3ヶ月 3ヵ月以上 (複数回答不可)

5. 「裁判員」には交通費の他に日当の支払いが予定されています。いくらが妥当ですか？(複数回答不可)

¥30,000-未満 ¥30,000-以上¥50,000-未満 ¥50,000-以上¥80,000-未満 ¥80,000-以上

6. 現在の刑事裁判に対するイメージは？(複数回答可)

とにかく長い 言葉が難しい 内容がわかりにくい 近寄りづらい 興味・関心がある 信頼できる

7. 裁判官と「裁判員」(市民)の数を選べるとしたら、1つのグループに何人が適当ですか？(複数回答不可)

裁判官の人数 1人 2人 3人  
裁判員(市民)の人数 3~5人 6~9人 10~12人

8. 「裁判員」になるための意義や知識を義務教育で教えることに賛成ですか？

はい いいえ

9. 「裁判員制度」導入後のメディア報道に何を希望しますか？(複数回答可)

裁判員経験者の経験談を伝えて欲しい 事件当事者に配慮した報道 事実のみを詳細に伝える報道  
偏見を植付けないよう配慮した報道 現状のままで良い

10. 9. に際してあなたがコメントを求められたら、プライバシーが保護されれば意見を述べても良いと思いますか？

はい いいえ

11. その他、「裁判員制度」に対するご意見、ご要望などご自由にご記入ください

あなたの性別は？ 年齢は？ 職種は？ 以上 ありがとうございました

FAX 03-5360-7031 (締め切り：2003年11月30日(日))